

長町・歩いて楽しい街並みづくり検討会
第5回 利活用ワーキンググループ会議録

- 1 日 時 令和7年7月31日(木)18時30分～20時
- 2 会 場 太白区役所5階 会議室
- 3 出席者
委員：利大作委員、加藤隆委員、小島博仁委員、小林利一委員、鈴木有希子委員、
堀内祥弘委員(WG座長)、渡辺由之委員
※阿部正人委員、佐藤秀彦委員は欠席
コーディネーター：氏家滉一氏
太白区(事務局)：長町地域活性化推進室長、長町地域活性化推進室 船水主査、木皿主査、
小澤主事
- 4 次第・資料
 - 1 開 会
 - 2 ワーキングの内容について
 - ・街並みづくりの基本的な方針(案)について【資料1】
 - ・街並み活用戦略・街並みイメージ(案)について【資料2】
 - ・街並みイメージ【拠点】(案)について【資料3】
 - ・R7賑わい創出社会実験の概要【資料4】
 - 3 意見交換
 - 4 閉 会

1 開会

2 ワーキングの内容について

<事務局より資料1～4に基づき説明>

3 意見交換

堀内座長：

- 資料1及び資料2について各委員から意見をお聞きしたい。

加藤委員：

- 資料2のP9・P10について、長町駅西口広場やリップルロードの給排水・電源設備の設置は、利活用を進めいくうえで安全性や環境等の面から早期着手が必要だと思う。

小島委員：

- 資料2のP9の実践メニューについて、将来ビジョンの長町らしさ(歴史や風情)は、商店街の魅力発信だけでなく、他の戦略の中でも表現することを心掛けてほしい。
- 道路空間の再整備に伴い、歩道への電源設置も考えてほしい。
- 長町駅西口広場の利活用に向けて、都市公園リノベーション協定等を目指すことも盛り込むのも良いと思う。

鈴木委員：

- 戦略のタイトルについて、「休日」「夜」としたことにより、「平日」「昼間」は戦略がないのかなという疑問が出てきた。対象とするまちの人たちに偏りが出てしまうのでは。
- 長町らしさ、下町情緒をどう実践メニューに落とし込むのが課題だと思う。
- 商店街のマップには、新しく長町に住んだ人にも分かりやすい歴史的なエピソードなどを入れられると良いと思った。

渡辺委員：

- ほこみちの具体的な導入事例を紹介してほしい。
- リップルロードの具体的な活用イメージがわからないものの、なんとか活用していきたいと思っている。

事務局：

- 市内では、定禅寺通線や虎屋横丁線、宮城野通線などがほこみちに指定されている。
- 最初に指定された定禅寺通線ではテーブル設置やイベントが開催されている。また、虎屋横丁線では沿道のお店の人がテーブルなどを出しており、宮城野通線ではキッチンカーの出店などを行っている。
- リップルロードでどのような活用ができるかは、今後の社会実験などを通して検討していきたい。

小林委員：

- 長町に車で来る方には、コインパーキングを設置して買い物をしてもらうことが必要だと思う。
- 車道に自転車通行帯を設けることにより、歩行者は安全になる。
- 長町駅西口広場で商店街の店舗を集めたイベントをやって、お店を知ってもらうのも良いのではないか。

利委員：

- 基本計画は、長町地域の外の人たちに向けて、こういうまちにしていきたいというメッセージが伝わるようなものにしていきたい。

堀内座長：

- 長町商店街では、新しい人を受け入れるため、店舗の調査を行っている。加藤委員から詳細をご説明願いたい。

加藤委員：

- 商店街の店舗調査では、受け入れ側の体制づくりに向けて、空き店舗を含めた店舗調査を行う予定である。
- 店舗のニーズを把握できると、今後の受け入れ側のサポート体制を構築できると考えている。

堀内座長：

- 商店街にあったらいいものがあれば、ご意見をいただきたい。

渡辺委員：

- 他都市の事例を見ると、商店街ごとに特徴がある。長町には若い方々が集まる場所が少ない、歴史を大事にできていないとか、足りないものが見えてきた。

鈴木委員：

- 長町は、地域に愛着を持った方が多い。
- 昼間はたくさんの保育園のこどもたちが散歩をしている。こどもたちに商店街のお店で商売体験をしてもらうのはどうか。その体験を通して、休日には親と一緒に店を訪れることにつながると良いと考えていた。

小島委員：

- ビジョンで取りまとめた取組みアイデアの中に、長町らしさが盛り込まれていると思う。
- 事務局には、取組みの方向性や実践メニューからも長町らしさが感じ取れるようなストーリー性を意識して、構成を工夫してもらいたい。

コーディネーター：

- これまで議論してきた内容が盛り込まれていると感じた。
- 長町地域の外の人に対して、資料の中で長町らしさを伝えることはアイデアが必要である。社会実験の結果なども踏まえて、再度 WG で議論をしながら進めていきたい。

小島委員：

- 言葉に頼らず、写真やパースを使うことも良いかもしれない。

コーディネーター：

- 戦略のパースの準備を進めている。近いうちに提示したい。

事務局：

- いただいた意見を資料に反映していきたい。
- 基本計画については、要素ごとに議論いただいていることにより、全体の構成が伝わりづらかったと思う。今後は、中間案などの形で俯瞰的に提示させていただき、議論していただければと思う。
- 長町駅西口広場やリップルロードの給排水・電源設備については、予算の兼ね合いもあるが、できるだけ早く設置することを考えたい。

堀内座長：

- 資料3について、各委員から意見をお聞きしたい。

渡辺委員：

- 商店街でリップルロードを使い切れていなかった。地域の方々に活用の輪が広められるよう取り組んでいきたい。

➤

加藤委員：

- 長町駅西口広場の活用は、記載のとおりで良いと思う。
- リップルロードは、イベント主催者から人集めが難しいという声も聞いていたので、資料の方向性のような日常的な空間としての活用・使い方は良いと思う。たいはつくるの地下のテーブル・椅子は、放課後に勉強する高校生であふれている。

小島委員：

- 無理やり長町らしさにつなげる必要はない。普段使いできることを長町らしさと捉えれば、リップルロードを気楽に使える場所にするのも良いと思う。
- リップルロードは、もともとは市立病院に向かうためのアクセス道路だった。小さなことでも様々なチャレンジができる場所になっていくと良いと思う。

小林委員：

- リップルロードも、長町駅西口広場のように催しを行い続けることで、住民の目を向けさせることが大事だと思う。

鈴木委員：

- リップルロードの活用の上で、パル長町との連携はできないのか。

事務局：

- パル長町の施設の位置づけを確認のうえ、検討する。

利委員：

- 普段使いを意識することが大切だと感じた。日常の賑わいを目指して始まった事業であり、長町駅西口広場やリップルロード、歩道の普段使いからイベント時の使い方と広げていくことが大切だと

感じる。

堀内座長：

- 資料4について、各委員から意見をお聞きしたい。

小島委員：

- 資料4の P7 について、軒先利用のイメージを伺いたい。

事務局：

- 沿道のお店・事業者が民地と一体となって歩道を活用すること。

堀内座長：

- 内容が固まり次第、事前に内容を共有したい。
- その他、委員よりご意見等あるか。

加藤委員：

- 長町地域でエリアマネジメント会社の設立に向け、準備委員会を立ち上げた。
- 具体の活動などはこれからだが、今後も各委員と意見交換しながら進めてまいりたい。

4 閉会

(20 時終了)